



平成 30 年度第 5 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 30 年 12 月 9 日（日）9：30～13：30

開催場所 静岡県栄養士会 事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	木下	新井	大塚	伊奈	辻井	竹澤	末永	篠原	森下	矢ノ下
出欠	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	上田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	芹澤
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	○	○									

開 会 定刻に至ったため、新井副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、地域活動事業部の上田理事と勤労者支援事業部の矢ノ下理事が指名された。

1 会長あいさつ

設立 25 周年記念式典を盛会に行うことができた。参加された方からは、栄養士会に対する賞賛のお言葉を頂いた。また賛助会員との繋がりも強いものになったと思われる。今後、栄養士会の歴史を残し伝えていくため、理事による記念誌作成をお願いしたい。

2 前回議事録の確認

・第 4 回理事会議事録（案）

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1)坪井会長

9 月 27 日	第 49 回日本看護協会全国大会	グランシップ
9 月 28 日	静岡新聞取材	栄養士会事務所
10 月 2 日	県 8020 推進会議	県歯科医師会館
10 月 4 日	オーラルフレイル会議	県歯科医師会館

10月7日	牛乳協会料理コンテスト	鈴木学園
10月14日	日栄業務規範検討委員会	東京日本栄養士会
10月25日	県癌診療連携協議会支持療法部会	県庁西館4F
10月26日	静岡市静岡医師会合同勉強会	静岡市医師会館
11月9日	平成30年度第1回 県地域包括推進ネットワーク会議	レイアップ御幸町ビル
11月11日	静岡県薬剤師会中部勉強会講師	県薬剤師会館
11月18日	静栄法人25周年記念祝賀会	ホテルセンチュリー
11月28日	県健康保険委員大会記念講演	グランシップ
11月28日	H30日韓文化交流企画打ち合わせ	グランシップ
11月29日	健幸惣菜レシピ会議	県庁西館4階会議室
12月1日	日栄委託事業「食生活と植物油の勉強会」	あざれあ
12月3日	朝日テレビ「サラダチキン」取材	
12月8日	第8回日本在宅看護学会	県大小鹿キャンパス

・テレビ等メディア取材が多かった。今後も食と健康について、栄養士が意見を求められることは増えていくと思われる。編集の仕方によっては誤解を生むことがあるので、正確な情報を伝えられるよう、相手とよく調整することが大事である。

(2) 木下副会長

10月26日	静岡市医師会館	静岡市医師会合同研修会
11月8日	浜松市	歯科衛生士との打ち合わせ
11月17日	事務所	記念式典準備（卓上花作成）
11月18日	ホテルセンチュリー	記念式典出席
11月21日	浜松市	病院相談員と多職種との意見交換会
11月25日	あざれあ	「地域に根ざした食育」研修会
11月30日	浜松市	E&C と打ち合わせ
12月1日	あざれあ	「食生活と植物油栄養に関する講習会」

(3) 新井副会長

9月27日（木）	日栄生涯教育WEB会議（静栄事務局）
10月2日（火）	志太地区研修会（藤枝市生涯学習センター）
10月14日（日）	記念事業委員会（記念式典、記念誌）
10月26日（金）	静岡市医師会・静岡県栄養士会合同研修会（静岡市医師会館）
11月18日（日）	静岡県栄養士会25周年記念式典（ホテルセンチュリー静岡）
11月29日（木）	静岡県健康福祉部委託事業「しずおか健幸惣菜」レシピ検討委員会（県庁）

4 報告事項

(1) 研修部

・9月29日（土）生涯教育WEB会議に新井副会長が参加し、運営や基本・実務研修について質問、日栄から回答があった。後日報告をする

①研修会実施報告（渡邊美子理事）

・研修部主催

- 9/29 医療「サルコペニアの診断・治療をどうするべきか？ サルコペニアのモヤモヤ」
参加 87 名
「低栄養の病態への新たな理解 その患者さんは、サルコペニア？カヘキシア？
ダイナペニア？ フレイルティ？」
参加 87 名
10/28 医療「栄養診断」
参加 128 名
「変わり始めた病態を踏まえた栄養管理」
参加 133 名
「認知症機能低下予防のための身体活動とその効果（コグニサイズ）」参加 130 名
11/25 3 事業部合同（地域・公衆・勤労）「地域に根ざした食育」
参加 33 名
基本研修「地域連携」
参加 31 名

・研修部主催以外

- 12/1 中部理事 日本植物油協会委託事業 「食生活と植物油栄養に関する講習会」
一般講義 参加 73 名、専門講義 参加 75 名

②交流会実施報告

・中部地区（土曜日午後開催、静岡あざれあ 4階第1研修室）

- 10/6 講演会「生化学で学ぶ(パート2)エネルギーを得るしくみ、たんぱく質・脂質の代謝」
講師：静岡大学 名誉教授 森 誠 先生 栄養士交流会(中部ブロック) 参加 61 名

(2) 医療事業部（久保田理事）

- ・特になし

(3) 広報部（篠原理事）

- ・お勧めメニューはワード書式（承認済み）に変更した。
- ・10月12日（金）午後14時より事務所にて会長、篠原、事務局（池田・鈴木・安倍）が山崎氏よりHP改定案の説明を受ける。今後の理事会に諮るため準備を進めることで三役承認。

<HP改定の進捗状況>

- ・サイトMap（案）を篠原作成、三役、事務局の意見を受け修正後、山崎氏に相談
 - ・山崎氏より、今のIT情報と取りまとめているが、現在手元にある書類が新旧混ざっているため、把握が困難。そのため、契約の設定内容を打ち合わせさせてもらいたいと相談があり、11月30日（金）に事務局（安倍）、山崎氏がE&Cを訪問する。
 - ・IT情報の概要確認ができたため、山崎氏より再見積りの提出
- *ホームページ改定を検討中である。有識者を交えて、公益社団法人の立場を踏まえ進めていく。

(4) JDA-DAT リーダー養成研修参加報告（渡邊潤理事）

育成研修およびリーダースキルアップ研修報告

開催日時・会場：平成30年9月15日（土）～17日（月） 名古屋文理大学短期大学部

【リーダー育成研修】

参加者：《静栄派遣》館石知美会員（中東遠総合医療センター）、三浦智広会員（島田市民病院）
《県派遣》江間章子会員（県西部健康福祉センター）
《自費》石垣範子理事、關恭子会員（富士市立こども療育センター）

静栄から参加した2名より復命書の提出あり。（資料）

【リーダースキルアップ研修】

参加者：《自費》池谷広美理事

効果：静岡県栄養士会に5名の新たなJDA-DATリーダーが誕生し、合計22名となった。

(5) 福祉事業部（田森理事）

10月27日（土）全国福祉栄養士研修会参加（田森・関・杉山）

(6) 地区事業部（竹澤理事）※詳細は別添資料を参照

- ・9/30(日)ぬまづ健康スポーツ祭（沼津市） 地域活動事業部より2名従事
- ・10/6(土), 10/7(日)しずおか元気応援フェア 2018（静岡市）
医療5名、地域活動2名、公衆衛生1名 計8名従事

【お知らせ】

「ふじのくに食と花の都の祭典」は、会場がプラザヴェルディ（沼津市）、日程平成31年2月23日、24日の開催を行うという連絡が10月10日に県の担当者から届いた。

昨年度は年明けの1月13日、14日に浜松市で開催され、当会から各事業部から理事5名が参加し、2日間の出展を行った。しかし、今年度は当会の主な事業である栄養士大会の日程と重なっており、会長からの指示により今年度の出展は不参加とした。

(7) 静栄 DAT（渡邊潤理事）

- ・DAT 緊急時連絡シミュレーションの実施

昨年同様 JDA-DAT リーダー育成研修会開催に合わせて実施する予定であったが、北海道胆振東部地震の対応で、実施が延期になる旨日栄より連絡があった。

- ・10/13 災害支援研修会・交流会開催（富士・富士宮地区） 参加者26名（会員外6名含む）

演題：「災害時の食支援について」講師：小川保人氏（DAT 東部リーダー）

- ・11/19 JDA-DAT「赤ちゃん防災プロジェクト」が発足した。

災害時に備え、粉ミルクや液体ミルクの備蓄推奨を行うとともに、液体ミルクのガイドライン作成し、自治体を通じた周知や配布を行う計画となっている。

- ・12/1 第7回静岡災害リハビリテーション研修会開催

参加者：寺田理事ほか

・災害支援パンフレットについて

富士市役所より市の防災イベントで配布したいとの申し出があり、フォーマットを提供した。
また、最終版パンフレット様式編集の際、連絡先（TEL/FAX）が欠損していたため、連絡先を追記したものを最新版とする。（資料）

・第9回 JDA-DAT リーダー育成研修および第4回リーダースキルアップ研修の開催について
2019年9月21日～23日 高知県にて開催予定

(8) 地域活動事業部（若林理事）

1) 研修会参加報告

日本栄養士会全国リーダー研修会参加報告（宮城県仙台市 TKP ガーデンシティ仙台）

11月9日

基調講演「よりソリプロジェクトについて」（公社）日本栄養士会常務理事 下浦佳之
地域活動事業部の活動報告と情報交換（15:20～16:30）

意見交換会（17:30～19:30）

テーマ「地域活動事業部会員として、よりソリプロジェクト参加の意義について」

11月10日

講演Ⅰ「健康食品」類の宣伝広告に要注意 群馬大学名誉教授 高橋久仁子

講演Ⅱ「体内時計における食の運動と相互作用」 早稲田大学理工学学術院教授 柴田茂信

事例発表Ⅰ「食のつながりがひとのつながりを生む～土地を愛し人を愛し料理を愛する～」

（公社）富山県栄養士会 山崎亮子

事例発表Ⅱ「栄養ケアチームとしての活動～一人でもできる栄養ケア・ステーション」

（公社）大阪府栄養士会 橋本通子

事例発表Ⅲ「平成30年の地域包括システムの本格稼働北海道の地域包括システムにおける
栄養ケア介入の事情～これまでの取り組みと今後の課題」（公社）北海道栄養士会川畑盟子

※2019年7月6日（土）福井で開催予定のブロック研修会にて静岡県栄養士会が事例発表を担当する（詳細は別紙復命書参照）

2) 委託事業報告

①「元気を見つめる外食活用推進事業」の進捗状況

高校生対象講座 10校 飲食店栄養成分表示 9店舗 ※別紙一覧表参照

②しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務の進捗状況

・11月29日（木）第1回検討会 18:00～20:00

全応募 39品（主菜 19品、副菜 11品、主菜・副菜 8品）

⇒検討会による審査通過 29品（主菜 13品、副菜 9品、主菜・副菜 7品）

・12月17日（月）調理試作あざれあ9時～18時の予定

【担当】若林理事・石垣理事・池谷理事・内野会員・渡邊会員・大石会員

新井副会長・川上先生

・2月18日（月）第2回検討会予定 18:00～20:00 アザレア 503 会議室 予約済

③富士宮市食文化プロジェクト事業

- ・地場産品探検ツアー マックスバリュ東海㈱と連携

第3回目を11月17日に富士宮若の宮店にて実施予定したが、登校日と重なり変更
10月28日(日)に実施

- ・「健康な食事」について考えるランチセミナー予定

1月30日(火) フレンチコワン

2月20日(火) フォレストヒルズ レストラントスカーナ

④食品表示適正化・活用普及委託事業(池谷理事)

- ・講習会テキストの作成：昨年度のものに修正を加え、第2版を450部作成した。

- ・栄養成分表示作成講習会(県内3か所)開催時間：13:30~16:30

10月19日(金) 島田市 プラザおおるり (定員150名) 参加者51名

11月9日(金) 三島市 静岡県総合健康センター (定員100名) 参加者50名

1月18日(金) 静岡市 グランシップ (定員150名)

講師：静岡県立大学 教授 市川 陽子 東海大学短期大学部 助教 遠藤 泰子

演習サポート：地域活動事業部 池谷理事、事務局 安倍 事務対応：事務局 池田

(9)栄養ケア・ステーション事業報告(寺田理事)

①事業受託状況

特定保健指導28件、病態栄養指導14件、介護支援34件、食育支援95件、食と健康支援26件、
外食栄養成分表示0件、計197件

②職業紹介事業

求人件数 50件 新規求職者数 11名、紹介者数 7名、雇用契約成立4件

③静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同 研修会報告

日時・場所：10月26日(金) 19:15~21:00 静岡市静岡医師会3階講堂

出席者：事前申し込み 45名、当日参加者 40名

講師：順天堂大学 大学院医学研究科

研究基盤センター 細胞機能研究室

乳酸菌生体機能研究講座 准教授 竹田 和由 先生

テーマ：「身体を守る免疫の話 ~乳酸菌の健康効果~」

受講料：1,000円(受益者負担)

④平成30年度 第2回栄養ケア・ステーション担当理事会議(報告)(寺田理事)

開催日：12月1日(土)

(10)静岡県栄養士会 法人設立25周年記念事業について進捗状況報告(坪井会長)

- ・出席人数 記念式典参加者 会員88名、賛助会員12名、ご来賓14名 参加者総数114名
- ・会計報告 *事務局に確認する

(11) 来年度の定時総会

開催日：平成 31 年 6 月 1 日(土)

総会会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール 予約済

展示会場：小ホール 予約済

<特別講演>

講師(案)：京都教育大学 湯川 夏子 先生

講演内容：「料理の効用(料理療法という考え)と実践研究の実際 ～栄養士として、多職種(専門家)と、どのように連携し社会的問題に挑んでいくか、また前を向いて行くか～」

・例年、総会時に県の健康増進課よりお話を頂いていたが来年度はどうなるのか。

→総会については今後、会長を中心に理事会において検討していく。

5 協議事項

(1) 「東海北陸地区代表者会議」2019 年開催は当番県

- ・日栄主催で行う東海北陸地区の会議である。来年度は 8 月の開催を求められている。
- ・会場の大きさや予算等から中部地区の松風閣が第 1 候補。第 2 候補は焼津グランドホテルと考えている。静岡駅までの送迎は可能とのこと。(鈴木理事より提案)
- ・食品工場の見学を検討したが、開催される土日は休業である。特色ある受け入れを考慮し、焼津さかなセンターに立ち寄るのはいかがか。
- ・8 月の土日は会場の日程的に難しい。前後の月に変更はできないか。

→日栄に静栄の希望を担当の神戸先生をとおして調整していく。今までの出席者から情報の提供をしていただき今後も検討していく。

(2) 静栄「栄養ケア・ステーション」の今後の運営について(寺田理事・担当事務)

① 地域ケア会議に向けて、派遣する際の金額設定について審議

<案>

会議：3500 円/h、介護教室：10000 円/h(交通費込)

日栄および他県を参考に設定した。これを上限に案件によって別途交渉としたいがいかがか。

・医師会等は協会が経費等を負担し、無料で派遣している。また、公益社団法人のため、有料への理解を求めることが難しいこともある。しかし、静栄としては資金的に厳しいこともあり、日栄の指針を元に進めていくのが良いのではないか。

・ケア・ステーションとしての事業を始めたところであり、まずはこの設定で行ってはどうか。

→上記の案について承認された。

② 支部の機能充実のため、東部西部担当者へのコーディネート料の新設について審議

<案>

500 円/回、2019 年度は東部西部支部各 20 件ずつとして予算 2 万円を計上

中部は統括の役割もあり、運営できているが東部西部は経費(通信料等)が自己負担となっているためコーディネート料として新設したいが、いかがか。

- ・会費からなのか利用者負担なのか。利用者負担とすると地区による差が生じることになり、運営上地域差があるのは問題ではないか。
 - ・県民の要請に応えるため東部西部の運営を円滑にし、ケア・ステーションを拡大していくことは必要なことである。事業費として静栄が負担するのが望ましいのではないか。
- 上記の案について 2019 年度は静栄事業費として 2 万円を計上することが承認された。

(3) 日本栄養士会「平成 31 年度栄養ケア活動支援整備事業」(若林理事)

～栄養ケア寄り添い型ソリューション事業(よりソリプロジェクト)～ 事業について

<案 1>

日栄より 2 月末までにケアマネ、ヘルパーへ食の大切さを伝える研修を実施して頂きたいと要請があった。会長よりケアマネ団体へ開催を打診し快諾されたので、2 月 9・10・11 日のあざれあ大会議室を押さえた。

日栄より講師の派遣に 10 万円を補助するとのことだが、詳細の調整について問い合わせたところ、日栄からの応答がない。

→開催を日栄に再確認することで採決された。12 月中旬までに日栄と調整がつけば、開催が可能ではないか。

<案 2>

よりソリの研修会をどこが担当するか。2019 年度の研修会について研修部で受け持てないか。地域担当だと予算編成がなく受益者負担になってしまう。

副会長:研修部によりソリの予算は組まれていない。どこが受け持つにも予算編成が必要となる。

会長:研修について考え方の見直しが必要ではないか。こちらの考える必要性で研修会を行っても参加者はこない。

・よりソリ研修会等について、各事業部の見解

福祉:研修会への参加は所属先の意向もあるのではないか。個人にもだが、所属長にも必要性の理解を求めることが必要と思われる。

医療:よりソリへの理解の必要性は感じるが、病院業務に直結しておらず、登録して業務に繋げることは難しいと思われる。

公衆:よりソリを理解している会員が少ないのではないか。またソリよりの理解=登録者にはならないのではないか。各地域少人数で取り組む方がよいのではないか。

学校:業務と直結していない。業務と直結している地域が担当するのがよいのではないか。

勤労:業務と直結していないので個人のスキルアップとして取り組むことになると思われる。

研究：栄養士養成機関としては栄養士法制の中でコアカリキュラムを6割、4割を学校の特色による方向性とすることもでき、必要性は認識している。よりソリ研修会は登録者向けか、よりソリの紹介なのか。よりソリに限らずニーズの把握、ターゲットの絞り込みが必要ではないか。

地域：本人たちの内容の周知がないと地域ケア会議への紹介もできない。又人材も育っていない。これは地域活動事業部だけでなく栄養士会全体として業務をまかなえるように人材育成の必要があると思う。そのためには小規模でも研修会を実施したほうがよいと思う。(若林)

副会長：まずはDVDの基本研修ではどうか。その後ニーズに合わせた研修会を行ってはどうか。

会長：研修会は必要ではあるが広報活動、施設者に向けた活動等内容を再検討した方がよいのではないか。

→再検討で採決された。

(4) 研修部 (渡邊美子理事)

①平成31年2月23日(土) 第4回静岡県栄養士大会

研修部から学術部へ引継ぎし、昨年度のアンケート結果等も考慮して運営していく

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ5階

演題応募数：10件(12月7日現在)

医療4、学校0、勤労0、研究1、公衆2、地域1、福祉1、栄養CS1

学術研究発表では各事業部より1演題以上は応募をお願いしたい

・発表演題は例年17程度となっており、今年度も同程度としたい。引き続き各事業部で演題を募っていく。

午前中の講演会の講師について

講師：静岡県立静岡がんセンター 栄養室長 稲野利美氏

演題：「がん患者の食事と栄養」

②30年度 後期研修会 (10月以降)

1) 研修部主催

平成31年11月25日 地域活動・行政・勤労者支援 三事業部合同研修会

「地域に根ざした食育」 参加 33名

「地域連携」 参加 31名

2) 研修部主催以外

平成31年12月1日 中部理事 日本植物油協会委託事業「食生活と植物油栄養に関する講習会」

参加 一般研修 73名 専門研修 75名

未定 研究「EZRによる統計解析をマスターしよう」 ⇒今年度は開催しない

未定(1~3月) 生涯教育基本研修 演習

3) 研修部主催以外

・地域・福祉・公衆合同「在宅介護者への食生活支援研修会」

平成 31 年 1 月 18 日(金)13:30~15:30 掛川市徳育保健センター

一般県民向け(介護家族向け)の講座

内容: 1. 講話「今日から出来る、飲み込み支援」(仮)

講師: 掛川東病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 渡邊良平 氏

2. 体験「食べる機能を守る口腔体操」

講師: 歯科衛生士 瀬川 明美 氏

3. 講話「みんなどうしているの? 在宅での介護食」

演習①「パックスッキングの作り方」

演習②「介護食へのアレンジ法」

講師: 看護小規模多機能型居宅介護「とうか」管理栄養士 加藤百合子 氏
高梨 恵子 氏

4. 試食・個別相談(希望者のみ)

・栄養ケア寄り添い型ソリューション(よりソリプロジェクト)指導者研修会

平成 31 年 2 月 2 日(土) DVD 研修および演習 会場: 浜松医科大学研修室

・東部ブロック研修会&交流会

平成 31 年 2 月 3 日(日)

栄養ケア寄り添い型ソリューション(よりソリプロジェクト) DVD 研修および演習

会場: 日本大学短期大学部 1512 教室

・会員をとおして非会員にも参加を呼びかけていく。

(5)平成 30 年度予算編成について(坪井会長・新井事業部長)

①事業計画について(新井事業部長)

・事業編成について

・2019 年度 事業計画、予算については 1 月の理事会までにまとめるよう、事業計画および予算申請を事務局に提出する。

・元号改正により年度の統一が必要である。今年度は平成 30 年度、来年度は 2019 年度とする。

②会員名簿の作成について(木下副会長)

・平成 30 年度は 11 月下旬に完成し、賛助会員へは 12 月上旬に発送した。

会員へは会費請求の発送時に同封予定。

・会員名簿の完成時に名簿のありかたについて検討を開始する旨第 4 回理事会で報告したが、1 月に検討委員の選出をお願いしたい。

(6)広報部(篠原理事)

①ホームページの改訂について

- ・広報部会で検討するか。広報部会にプラスしてワーキンググループをつくるか。
- 理事によるワーキンググループとすることで採決された。

(7)クレジットカード決済導入の可否について（事務局 安倍）

業務支援システムリニューアル（12月12日～）され日栄HPの一環として行われる。最大の目的は会員増（新入会増、継続率の向上）

- ・新入会増：入会手続きの簡素化、クレジットカード決済（取りこぼしを減らす）※詳細は④で説明
- ・継続率：会員のメリットを実感できる。情報提供、研修会

①業務支援システム（会員WEBサービス）の主な変更点

（11月30日愛知県栄にて操作説明会開催）

日本栄養士会ホームページに機能として吸収され、日栄HPのデザインに合わせたページとなる。そのためスマートフォンからも見やすく、入力しやすくなる。（詳細は別紙参照）

●WEB入会機能（12月27日～）別紙①～③参照

WEB入会登録フォームの項目が多いため、段階にわけてページを分割し、多さを感じさせないようにする。（県単位で）クレジットカード決済が利用できる。

- ・勤務先情報の入力形式変更 勤務状況を選択する。「働いていない」、「フリーランスなど」は入力しない。「働いている」を選ぶと勤務先を入力画面が表示される。
- ・興味分野の登録を追加 8分野（臨床栄養、学校栄養、健康・スポーツ栄養、給食管理、公衆栄養、地域栄養、福祉栄養（高齢者・障がい）、福祉栄養（児童））（複数登録可）
- ・入会歴、直近の所属県栄を入力できるようにする。（再入会者は古い情報と紐づけられる）
- ・WEB入会受付完了で会員番号付与。
- ・パスワードの発行ルールと会員へのお知らせの変更（入会后、日栄からパスワードを郵送していたが、入会申請時に任意のパスワードを設定、入金・入会后にパスワードが使えるようになる）

●その他の変更点（会員側）

- ・登録情報変更、研修会申込は日栄にログインし、日栄マイページで行える（別紙⑥⑦参照）
- ・メールアドレス登録欄を1つにする。現在3つ登録できるが、移行できるのは1つのみ。
- ・メールマガジン欄追加（日栄の発行については不明）
- ・各県の研修会の情報露出が大幅に増える。開催期間を絞った検索、キーワードを絞った検索も可能となる。会員、非会員も日栄HPより研修会を知ることができる。
- ・マイページでは職域、所属県栄の研修会が優先的に表示、会員が自分で登録した興味分野、履歴から受けた方が良い研修会が自動的におすすめと表示される。
- ・自己評価表により、その人にあった研修会表示も検討中。
- ・生涯教育単位管理画面 年1回の更新から、単位付与作業のあと更新されるようになる。
- ・リアルタイムでわかり受講計画が立てやすくなる。

●その他の主な変更点（事務局側）

- ・ダッシュボード機能追加 日本栄養士会からのお知らせ、簡易検索、未処理一覧（入会申請、転出入、研修会、会員変更履歴など処理が必要な情報が一括表示される）
- ・入会金徴収の有無を設定できる（入会金 OFF キャンペーンなど）
- ・休会制度のチェックボックスを追加
- ・退会と滞納を分割 現在は退会（滞納）、退会届を出した退会者と滞納者を分ける
- ・必須項目あり 足りないとアラート（メールアドレスが必須項目。質問したところ、他県でも同じ指摘があったので、検討します、とのこと）
- ・基本検索を充実。生年月日に幅を持たせるなど検索の幅が広がる。
- ・CSV書き出しの追加（出せるだけの情報を全部入れたCSVを項目付きで出せるように検討している。（←現状使用している弥生に近い）
- ・送金ルールの変更 日栄雑誌発送は入金登録後確定となる。
- ・会費送金管理画面で県栄、日栄双方の入金額、送金額が表示される。（相殺）（別紙④⑤参照）
- ・年次処理、初期化は今後行わない。日栄で一括して行う。

②今後のスケジュール（別紙⑧～⑩参照）

- ・テスト環境 12月5日～11日 ～12月末まで意見回収
- ・問い合わせ窓口利用開始 専用番号設置
- ・システム移行時のお願いと注意事項
- ・12月6日18時～24時利用停止。移行データ取り出し
- ・12日までデータの更新はしない。会員WEBサービスは利用停止。日栄HPで案内。
- ・12月27日～WEB入会受付開始、クレジットカード決済スタート

③静岡県栄養士会で今後対応が必要な事項

- ・クレジットカード決済導入の可否（12月10日 日栄に回答）
- ・入会申込書の変更 WEB入会の項目変更にともない、興味分野の追加が必要となる。
- ・ホームページのリンク先URLを修正 12/12～ WEB入会申し込み、研修会申込のリンク先URLが変更になるので、2月末までに変更。
- ・会員番号のルールの変更 クレジットカード決済は自動採番で確定されるため、今後はすべてのWEB入会者は同じ発番ルールの番号を用いる。（入会の手間を減らす）
- ・（将来的に）会員管理ソフトの業務支援システムへの移行 2つの会員情報を使っていることによる弊害を減らす（事務作業が煩雑になって、日栄雑誌の未着などミスが起きている）

④クレジットカード決済導入可否の決定

11月30日が締め切りであったが、理事会の決裁まで猶予をいただいている。

クレジットカードの決済のしくみ（別紙①参照）

会員が自分の責任で入力した情報は、決済を行うサービスにそのまま転送されるため、カード情報も日栄では一切保存しないし、県栄にも入らない。従ってカード情報漏えいは起こらない。

2019年度の対象はWEB入会者のみ。今後継続会員の利用拡大。（日栄理事会で審議）

クレジットカード決済以外の方法も継続する。

分割払いもできるが（～3回払いまで）、会費は決済後、日本栄養士会に全額入金される。都道府県栄が送金する日栄会費と相殺処理を行う。（別紙⑤参照）

●クレジットカード決済のメリット

- ・入会時の会費の取りこぼしを減らす。（H30 新入会 126 名、未入金で未入会 13 名）
- ・入会時のクレジットカード決済者は申し出が無い限り、次年度以降も継続を予定しているので、今後も未納が起きなくなる。

●デメリット

- ・手数料（100 円）がかかり、日栄からいただく事務手数料（100 円）が入らない。

※説明会の前に東海北陸ブロックに問合せたところ、愛知、岐阜、三重県は前向きに検討中、富山・石川・福井県は導入を見送る予定で今後検討したいとの回答を得た。

*2019 年度は新規登録者のみに導入される。事務手数料は県栄が負担となる。

自動引き落としはなくなっていく予定である。

→クレジットカード決済について賛成で採決された。

(8) 新入会員勧誘について（木下副会長（安倍））

例年 12 月中旬に、養成校と健康福祉センター等へ、新入会員勧誘の案内（入会案内、入会申込書、払込票）を送付している。（養成校の先生方の多くは年が明けてから学生に配布されていると聞いている）日栄からも 12 月に「管理栄養士・栄養士になるあなたへ」を各養成校に送付している。

12 月 27 日より新しいシステムでの WEB 入会が運用となる。

日栄もぎりぎりまで検討を重ねているため、入会申込書も現在予想しているものより修正が増える可能性がある。

（※現在検討中の変更案は別紙参照。ご意見があれば、事務局 安倍までご連絡いただきたい）

そのため、今年度は WEB 入会がスタートした後に申込書を修正し、1 月 27 日の理事会で承認後に案内を送付（1 月末～2 月初旬）するようにスケジュールを変更したい。

（養成校には文書で事情を説明する予定）

→承認された。

(9) 会員の承認について（新井副会長）

新入会員名簿

会費未納者名簿

賛助会員新入会（三田理化工業、日本医療企画） 1399 名⇒プラス 6 名（54 名未納者）

- ・新会員 11 名及び賛助会員 2 社の入会が承認された。

6 連絡事項

(1) 静栄 DAT より

特になし

(2) 会員への通知発送について

平成 30 年 12 月 12 日(水)までに事務局までメール添付

- ・会費納入のお願い(別紙)、払込票
- ・平成 30 年度生涯教育(単位認定等)申請について(別紙)
- ・静岡県栄養士会 HP「会員専用ページ」のユーザー名とパスワードの更新について(別紙)
- ・お友達紹介制度の継続について(別紙)
- ・研修会案内 1 月 18 日 在宅介護者食生活支援研修会
2 月 2 日 よりソリ研修会(別紙)
2 月 3 日 東部ブロック研修会案内、交流会チラシ(別紙)
2 月 23 日 静岡県栄養士大会(学術研究会&交流会)案内とチラシ(別紙)
- ・会員名簿

7 その他

① ホームページは来年を準備期間とする。

② 西日本豪雨の災害支援募金について、災害時食支援に寄付する。

→採決された

② 静岡保険年金管理課 藁科氏より 別紙参照

静岡市は H29 年 4 月から静岡市医師会・静岡清水医師会・腎臓病及び糖尿病専門医と連携して静岡市糖尿病性腎症重症化予防プログラムを作成し、平成 29 年度特定検診結果からプログラムに沿って、糖尿病性腎症の発症予防・重症化予防に取り組んでおられる。今回そのプログラムの概要及び現状について報告を受け、協力を求められた。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

平成 31 年 2 月 2・3 日 医療 東海北陸地区リーダー育成研修会(岐阜) 渡邊理事

平成 31 年 2 月 23・24 日 全国研究教育栄養士研修会および研究教育事業部全国リーダー研修会
(東京) 新井副会長

平成 31 年 3 月 10 日 14 時(理事会終了後) 栄養ケア・ステーション事業部会議

以上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成 30 年 12 月 9 日
公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 塚中 厚 

副会長 新井 英一 

監事 秋谷 喜志子 

監事 紅林 真佐代 